

富士北麓・東部地方振興局健康福祉部

腸炎ビブリオ食中毒にご用心!

腸炎ビブリオは海水の温度が二十度を超えると急激に繁殖するため、この食中毒の発生時期は、ほとんど六月〜九月です。

腸炎ビブリオが魚介類に付着したまま食卓にのぼると、それを食べた人が食中毒を起こします。とくに刺身など生で食べるもの、加熱調理が不十分な場合に、食中毒が多く発生しています。

潜伏期間は十〜二十四時間くらいで、激しい腹痛、吐き気・嘔吐、発熱、水様性の下痢を起こします。

予防のための5ポイント

○早く食べきる

○冷蔵庫をフル活用する

生食用の刺身やむき身貝類などは、四度以下に保存しましょう。

○真水でよく洗う

腸炎ビブリオは真水に弱い性質があります。洗えるものはなるべく水で洗って食べましょう。

○調理器具は清潔に保つ

食材からの二次汚染を防ぐために、調理器具は衛生的に。

○加熱する

加熱は確実な殺菌方法です。中心部が六十五度以上になるようにしっかりと加熱する。

なぜ今、結核なのか!

結核は、すでに克服された病気だと考えられ感心も薄れていましたが、実は決して過去の病気ではありません。

国においては平成十一年七月二十六日「結核緊急事態宣言」を発令しました。

平成十一年には、新たに約四万八千人の患者が発生しています。

また、約二千九百人が結核で亡くなっています。

結核は今なお最も警戒すべき感染症です!

こんな症状がたら要注意

周囲の人が結核にかかったり、結核が疑われる症状(長引くせきや血痰など)が続いたら医療機関で受診しましょう。

年に一回は必ず健康診断を受けましょう。



胸痛 たん 発熱 せき 血たん

問合せ

大月市大月町花咲160813 電話(22)7824

健全育成シリーズ(120) 「パラサイト・シングル」って思ってる?



二月に行われた国立大学の二次試験の初日。この日の試験では、十代の事件やIT革命、先端科学の功罪等々、社会の動きを反映した出題が多く見られました。その中の一つに「パラサイト・シングル」どう思う?と云った問題があり、そのことについて考えてみることにしました。二〇世紀に生まれ育った我々の世紀は、百年という時の流れの中に戦争と平和を二分した激動の世紀と言ってもよいでしょう。戦前に生まれた世代、戦後に生まれた世代、そして平和な時代に生まれた世代です。

いま、生活は平穏であらゆる物質に恵まれ、居ながらにして世界を知ることができたり、味わったりと本当に便利で豊かになりました。

戦後は、ほとんどの家が貧乏で大家族。両親は働きづめ、祖母は家内の養い、子どもたちは家庭生活を支えるための担い手の一人としてよく手伝いました。子どもの個室などなく、今のようには自室に籠もってゲームに興じるなどとは及びもつかないことでした。

常に大人の目の届くところで、家族の誰かしらと一緒にお互いの肌の温もりを感じながら「善悪」や「優しさ」そして「厳しさ」を生活の中で自然に学んでこられたと思います。近ごろは共働きの家庭が多くなり、親が子どもを背負ったり抱っこしたりする姿を目にするのが少なくなりました。肌の温もりこそ子どもがホッと、暖かく心安らぐ時なのにと何か心寂しく思ったりしました。

そして現在、バブル崩壊後経済が低迷の一途をたどり、終身雇用の廃止や年功序列の制度が崩れ去り、高学歴イコール大企業の夢破れ、目標の定まらない不確実な社会を迎えています。学校を卒業して就職し、三十代になっても親元を離れようとせず、独立しようとしないう若者たち。また、それを容認している親たち。いつまでも親の側においてめんどうを見ることに喜びを感じ、それを子どもに對する深愛と勘違いして、子どもを成人と認めようとしません。子どもたちの将来を考えるのなら、社会という大海を泳げるように独立させようという仕向けることこそ肝心だと思えます。「獅子の谷落とし」ではありませんが、親離れ・子離れの時期をしっかりと見極め、子どもたちを自立に向かわせることこそ子が「パラサイト・シングル」にさせない一つの方法かと考えます。

法かと考えます。

時には静かに子どもたちを見てください。時が経ち親の年齢に近づくと、そっくり同じくぐさや言葉を話している自分に「ハッ」とします。自分が子どもたちの年齢の頃に返ってみてもいいでしょう。子どもたちのしぐさや言葉に以前の自分の姿を見いだし、しばしば驚かされることでしょう。子どもは真に親の姿を映す鏡だったので。そして何げない日々の生活の中から親の姿を鏡として映しだし学んでいるのです。

豊かさのなか、平和のなか、何をすることも自由ですし可能です。「個人の尊重を強調するあまり「公」を軽視する傾向が広がり、子どもたちが「孤の世界」に引きこもる傾向が現れています。」文科省が一月に発表した新世紀教育政策の指針に示した言葉です。

大人が子どもの頃に体験を通して感じてきた「優しさ」「温もり」「強さ」「忍耐」「心棒」意志を伝えることの大切さをしっかりと鏡に映して、二十一世紀を生きる子どもたちにバトンタッチしたいと思えます。そして、命や自然の大切さと自由には責任が伴うことを、子どもたちと共に親も学んで行きたいと考えます。

※パラサイト・シングルとは 親に寄生する未婚の子ども。